

「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第11回公開講演会報告

(社)日本磁気学会 総務委員会

去る2010年9月4日(土)に、(社)日本磁気学会第11回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」をつくば市の物質・材料研究機構 千現地区 研究本館第1会議室において開催しました。前回の大同大学での開催に引き続き、このイベントもすでに11回目の開催となりました。今回は日立金属(株)、(財)東京応化科学技術振興財団、(株)高純度科学研究所、(株)日立ハイテクノロジーズのご後援により、つくば市在住の小学生を対象として実施いたしました。近隣小学校より小学生児童48名、父兄ほかあわせて90名超の方が参加されました。

講演会当日は高橋会長の挨拶に続いて、今回講師としてお招きした(独)物質・材料研究機構の高橋有紀子氏により、「大活やくする磁石！～見えない力の不思議な世界～」というタイトルで磁石の性質やその使われ方・電磁石・モーターの仕組みなどについて、約60分の講演をしていただきました。時折織り込まれた実験は子供たちのみならず大人まで釘づけとなったようで、より楽しめる講演会だったのではないかと思います。特に磁石を使ったコマが空中浮遊して回り続けた時には、会場で歓声があがりました。“磁石の魅力”に大いに引きつけられながら、講演を楽しむことができました。

講演終了後に、子供たちに4つの班に分かれてもらい、「不思議スライムを作ってみよう!」、「磁石をつかったすごい装置 ～ハードディスク～」、「磁石の中に迷路がある??」、「磁石で遊んじゃえ!」、「電子顕微鏡で見るミクロの世界」、そして今回初登場となる、「磁石を使った逆さドミノ!」の計6コーナーを体験してもらいました。参加者数も多く、大きな会場いっぱい子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐっていたことが印象的でした。日本で発明された世界最強の磁石の凄さ、モーターと発電機の構造の違い、磁石を使った逆さドミノ(フジテレビの依頼により昨年末に某番組へ協力した実物)の不思議など、磁石の魅力を存分に実感してもらえたのではないかと思います。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気づき磁石に詳しくなったということで、「じしゃく博士」認定証を一人ずつ子供たちに神保総務理事より贈呈しました。

筑波では2回目の開催であり、また土地柄サイエンス教育に非常に熱心なご父兄も来場されるため、オーガナイザーとしては本イベントをどのように楽しんでもらうか苦心しました。体験コーナーについても毎回少しずつ変更を加えながら内容の充実を図

っていますが、今後もさらに検討していきたいと考えています。公開講演会を通して、磁石・科学の魅力をアピールし続けていくこと、特に子供たちの世代へどのように魅力を伝えていけるかが、本学会にとっても極めて重要な活動であると思います。

一方で、開催日程について検討事項が生じつつあります。本公開講演会は年2回開催しており、そのうち1回は学術講演会の日程付近の土曜もしくは日曜開催を基本としています。昨年の長崎および今年の筑波のように学術講演会の日程が土日を挟む期間になってしまうと、オーガナイザーは学術講演会には出席できず、本イベントの準備および実施をしなければなりません。来年以降の学術講演会の開催期間を検討する際には、ぜひ本公開講演会の重要性を考慮して、日程を決定していただけますと幸いです。

最後になりましたが、講演していただいた高橋氏を始め、準備でお手伝いいただいた物質・材料研究機構の皆様、体験展示コーナーにてご協力いただいた筑波大学の皆様ほか、全ての第11回講演会にご協力いただいた皆様・参加していただいた皆様に紙面を借りてお礼申し上げます。今後も長く公開講演会を続けられるよう、引き続き皆様のお引き立てをよろしく申し上げます。

(総務幹事：東工大 多田大、NHK 宮本泰敬)